

## 保証内容書

このたびはレコムの商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
お買い上げいただきました製品につきまして、本保証内容により保証させていただきます。

1. 保証番号について  
各製品には、製品独自の保証番号がついています。例：FRS1234567、12HB7345-678、124XD1-12等  
製品発送のお知らせと共に保証番号をお知らせしております。  
機械本体の製造番号が保証番号となっておりますので、製品の銘板でご確認いただくこともできます。

2. 保証期間について（納品日より保証期間3年間）  
保証開始日、保証終了日を知るには、保証番号を当社へお伝えください。保証期間をお伝えいたします。

3. 保証の内容  
正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、製品の無料修理または交換をさせていただきます。  
修理の場合は、製品をレコム株式会社への持ち込み修理といたします。  
修理、交換のいずれの保証方法をとるかについては、レコム株式会社の判断とします。

4. 保証の範囲  
保証は機器本体を対象とします。付属部品やパソコンなどの消耗品や機械本体以外に生じた損害及び

機器の搬入・取り付け・搬出・梱包にかかる費用等は、保証の対象ではありません。

5. つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。

- ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ② 納品後の取付場所の移動、落下などによる故障及び損傷。
- ③ 火災、爆発、地震、風水害、雷、爆煙、降灰、酸性雨、腐食性などの有毒ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、おすみ、鳥、くも、コキリ、昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。

- ④ 水道管の錆などの異物の流入、給・配水管の詰まりにより生じた故障及び損傷。
- ⑤ 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
- ⑥ 音、振動、塗装の剥離、メッキの軽微な傷、錆などの設計仕様の範囲内の感覚的な減少の場合。

- ⑦ 工事説明書または取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた

- ⑧ 店舗閉鎖後の製品の長期運搬停止・保管及び所有者の変更の後に生じた故障及び損傷。

- ⑨ 保証番号のご提示がない場合。

- ⑩ 保証は日本国内でのみ有効です。

- ⑪ 製品をお買い上げいただいた場合の御購入金額を、保証修理費が上まわったり、いちじるしく高額であるとしてレコム株式会社が判断した場合は、御購入金額を返金する場合があります。その場合の御購入いただいた製品の廃棄もしくは移動に際しての諸費用はレコム株式会社保証料外です。

- ⑫ その費用についての責任は負えません。

- ⑬ 出張修理の場合は作業員が車両、船舶、航空機等の交通機関を使用し、または宿泊する必要がある場合には

- ⑭ その交通費、宿泊費および日当等はお客様のご負担となります。

- ⑮ ① 無料修理やアフターサービスなどについて不明な場合は、レコム株式会社までお問い合わせください。
- ② 保証番号の再発行はしませんので、大切に保管してください。紛失してしまった場合は、銘板に書かれている製造番号が保証番号ですので、ご自身で再確認して、大切に保管してください。

- ⑯ 製品の故障及び環境不良により生じた食品材料の損害、または製品の故障による修理待ち間製品が

- ⑰ 使用できなかつた事により生じた営業利益保証及び感謝料請求は保証の対象ではありません。

住所：静岡県三島市松本68-1

会社名：レコム株式会社

TEL：055-984-3600

FAX：055-984-3601

E-mail：info@remacom.com

URL：http://www.remacom.com



Food Service Equipment & Supplies

## 三温度帯冷凍ストッカー (NFシリーズ)



(ご使用前にお読み下さい。)

### 取扱説明書

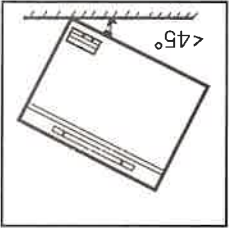
#### 安全と警告の情報について

冷凍ストッカーの電源を入れる前に

どうぞ、この取扱説明書をよくお読み下さい。この冊子には、どのように据え付けをし、どのように冷凍ストッカーをご使用になればよいのかについて書かれています。この取扱説明書を何かの時の為、あるいは次のオーナーの為に保管しておいてください。

#### 移動と据え付けについて

1. 冷凍ストッカーを移動する場合、本体を床面から45°以上に傾けないで下さい。また、冷凍ストッカーを横にしないで下さい。
2. フアの取っ手、蝶番など突起部を持つての移動はしないで下さい。破損の原因となります。
3. 冷凍ストッカーの設置、ご使用の際は、ダンボール、発泡スチロールなどのすべり音がしないように安定した場所に設置して下さい。



5. 冷凍ストッカーは、周辺のものから少なくとも10cmは離し、換気の良い場所に設置してください。

6. 正常な冷凍ストッカーの冷却能力を発揮させるため、何らかの熱を発生するものからは離れた場所におき、直射日光にも当たらないようにして下さい。もしも熱を発生するものの横に設置しなければならぬ場合には、その熱源と冷凍ストッカーの間に断熱シートを使用するか、あるいは最低でも熱源の機器から30cm以上離して設置して下さい。

7. 機器本体のサビは絶縁体に影響を及ぼす可能性があるため、冷凍ストッカーは乾燥した場所に設置して下さい。

#### 冷凍ストッカーをご使用になる際の重要なことについて

- 冷凍ストッカーの電源の入り切りに関わらず、決して冷凍ストッカーの中で電熱機器・電気機器（ヒーターや電動かき氷機等）を使わないで下さい。爆発の恐れがあります！
- 種取りの為にスチームクリーナー、ドライヤー、掃除機等を決して使わないで下さい。スチームは電気部品に入り込み、漏電の原因になる可能性があります。感電の恐れがあります！
- 霜を除去するために先のどがった、あるいは鋭い道具を使わないでください。冷媒管を傷つけてしまう可能性があります。冷媒の漏れは、発火を引き起こす可能性があります。また目を怪我してしまふことの原因にもなりかねません。

#### 技術的な安全性確保について

この冷凍ストッカーには、環境にやさしいノンフロンの冷媒が使用されていますが、可燃性の冷媒 (R600a) です。移動や据え付け時に冷媒回路の配管を傷つけないようにして下さい。冷媒の漏れは、発火を引き起こす可能性があります。また目を怪我してしまふことの原因にもなりかねません。もしも傷つけてしまった場合には・・・

冷凍ストッカーから火や熱源を離して下さい。



数分間、完全に部屋の換気を行って下さい。  
電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

冷凍ストッカーが含んでいる冷媒の量が多ければ多いほど、より大きな部屋でご使用下さい。  
狭すぎる空間の中では、同一の空間でご使用中のガス機器等と、万一漏れてしまった冷媒を分離させることが困難だからです。(少なくとも冷媒8グラムに対して1立方メートルの空間の確保が必要です。)冷媒の総量は、冷凍ストッカーの銘板シートに記載されています。  
電源コードの交換やその他の修理はレスコム株式会社のみ行うものとします。レスコム株式会社の許可ない技術者やユーザー自身が修理を行った場合、より重大な問題を引き起こす恐れがあります。修理については、レスコム株式会社にご連絡ください。

### 電源プラグを挿す前に！

冷凍ストッカーは、設置後6時間以上電源を入れないでください。  
電源を早く入れると、コンセッターや冷媒管の中のガスがつかまつったり、故障の原因になります。必ず冷凍ストッカーを設置して6時間以上は電源を入れないようにお願いいたします。

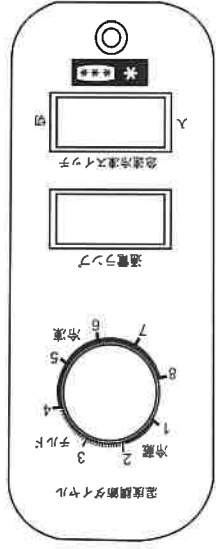
### ご注意：

1. 冷凍ストッカーは、アースをつけてご使用下さい。また、熱い管やガス配管には、決して繋がないで下さい。  
2. 万一、電気配線や電源プラグに何らかの破損がある場合には、決して自分で修理などはせず、販売店やレスコム株式会社へ連絡をして下さい。電源を抜くときには、電源コードを持って抜くのではなく、電源プラグを持って電源を抜いてください。  
3. もしも電圧が違う場合には、適切な自動電圧調整器をお選び下さい。  
4. ご使用前には、冷凍ストッカー動作確認のために電源を繋いで下さい。そして、十分に温度が下がったらご使用になって下さい。

ご希望の温度や中に入りたい食材の量にあわせて、温度調節機能を使って下さい。本製品は、温度調節機能を使って、冷蔵・チルド・冷凍の温度帯域でご使用いただくことができます。(より具体的な温度調節目安は、後述の「コントロールパネルの機能」を参照してください。)冷凍機能をご使用になる場合には、-18℃になるまで温度を下げてください。いったん-18℃まで下がったら、温度調節ダイヤルを5から6の温度設定にしてください。(急速冷凍スイッチを入れる、あるいは温度調節ダイヤルの8の設定は、1時間程度経ったら急速冷凍スイッチを切って、ダイヤルを5から6に戻してください。)  
6. 直接熱い食材を冷凍ストッカーの中に入れて下さい。冷凍された食材のみ入れてください。故障の原因になります。  
7. 食材間は、少し隙間を作ってストッカー内に入れて下さい。詰めすぎると冷気の流通が悪くなり、冷却能力が低下します。その場合は故障ではありません。  
8. 大きな食材は、いくつかに分けてストッカー内に入れて下さい。そのほうが、食材がよりしつかりと冷却されます。  
9. もしも、電源を切ることが必要な場合、再度電源を入れる場合は、5分以上待つてから、電源を入れなおしてください。これは、冷凍ストッカーのコンプレッサーにダメージがかからないようにするためです。  
10. 食材のにおいが混ざらないように、それぞれの食材をビニール袋に入れてから冷凍ストッカーの中に入れて下さい。これによって、食材の乾燥と食材に霜が付くことを減らすことも同時にできます。

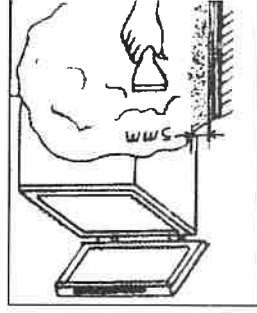
11. 可燃性、爆発性、腐食性のある液体やガスは、決して冷凍ストッカーの中に入れて下さい。また、冷凍ストッカーは、液体やガスから離して設置して下さい。

12. ビール、ジュース、生花、薬、注射器は、冷凍ストッカーに入れることはできません。



1. 温度調節ダイヤルは、1から8(冷蔵・チルド・冷凍)までです。この数字は温度ではありません。時計回りにつまみを回すことにより、より庫内温度は下がり、反時計回りにつまみを回すことにより、庫内温度は上がります。電源が入っているときには、通電ランプが点灯します。
2. 急速冷凍スイッチは、1時間程度経ったら、手で切って下さい。急速冷凍スイッチを入れたままにしてご利用になった場合、コンプレッサーが止まってしまう、故障する原因になりますので、御注意下さい。(この場合は、保証対象外となり、有償修理となります。) またダイヤル8の場合もこれと同じです。(この場合は、保証対象外となり、有償修理となります。)
3. 急速冷凍スイッチは、1時間程度経ったら、手で切って下さい。急速冷凍スイッチを入れたままにしてご利用になった場合、コンプレッサーが止まってしまう、故障する原因になりますので、御注意下さい。(この場合は、保証対象外となり、有償修理となります。)

霜取りについて



- 庫内容量を最大限に活用するため、庫内の壁に付いた霜が5mmに達する前に霜を取り除いて下さい。
1. 霜を取り除く前に、急速冷凍スイッチを入れて、1時間程度そのままにしておいて下さい。(霜取り時に冷凍スイッチから取り出す食材をより冷やす為です。) 1時間程度経ったら手動で急速冷凍スイッチを切って下さい。
  2. 冷凍スイッチの電源を切って、食材を取り出して、フタを開けお出しして下さい。そして霜が溶けるのを待つか、あるいは霜取り用ヘラを使って霜を取り除いて下さい。その際に、先のがった道具は使わないで下さい。故障の原因になります。
  3. 霜取り後、乾いた布で内側の壁・底をきれいに拭いて下さい。その後、電源を入れて下さい。
- 廃棄処分する際のご留意いただくこと
- 取り除くべき部品:
1. 主電源コードを本体から切断して下さい。
  2. 電源プラグも主電源コードから切断して下さい。
- 冷凍スイッチは、冷媒とガスを含んでいます。冷媒とガスは確実に処分されなければなりません。確実に冷媒を処分するために、先に冷媒配管を破壊させないようにして下さい。その他、廃棄処分する際には、適切に処分を行ってください。

1. 冷却剤が流れているときに、水が流れているような音がする。
2. 長時間電源を切っているにもかかわらず、凍った食材が溶けない。
3. 外気の湿度が多すぎるときに、冷凍スイッチの表面が結露する。
4. 機械が動いているときに、コンプレッサーおよびコンプレッサーが熱くなる。

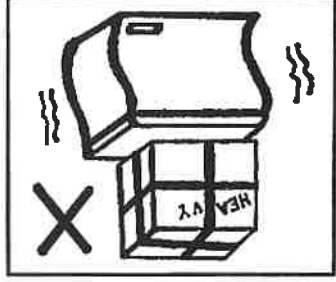
困ったときの解決策:

症状	理由	解決策
冷えない	建物のブレーカーが落ちていたり。 電源プラグが正しく接続されていない。 適切に温度調節して下さい。 急速冷凍スイッチ(黄色のランプ)が点灯している。 温度設定を8より小さい数字にダイヤル設定して下さい。 一度に多くの食材を入れている。 霜が付き過ぎている。 霜を取り除いて下さい。	ブレーカーを上げて下さい。 しっかりと接続して下さい。 温度調節ダイヤルが適切でない。 急速冷凍スイッチ(黄色のランプ)が点灯している。 温度設定を8より小さい数字にダイヤル設定して下さい。 一度に多くの食材を入れている。 霜が付き過ぎている。 霜を取り除いて下さい。
コンプレッサーの動作が止まらない	フタを開ける回数が多すぎる。 フタを開ける回数を減らして下さい。	フタを開ける回数を減らして下さい。
大きな音がする	冷媒管同士が触れている。 地面が平らでない。	冷媒管同士が触れている。 場所を変えて下さい。
コンプレッサーの動作が止まらない	冷媒管同士が触れている。 地面が平らでない。	冷媒管同士が触れている。 場所を変えて下さい。

ご注意: 前述の方法に従って問題を解決できなかった場合は、レコムアフターサービス(055-984-3600)へご連絡下さい。ご自身での修理や改造はおやめ下さい。

メンテナンスとお手入れについて:

1. 温度上昇を防ぐことと節電のため、頻繁にフタの開け閉めをしないようにして下さい。
2. 本体が変形しないよう重いもの、熱い食材は決してフタの上に置かないで下さい。
3. 冷凍スイッチのクリーニングをする前には、電源を切って下さい。
4. 冷凍スイッチのクリーニングには、やわらかい布とお湯で拭いて下さい。
5. パッキンの伸縮性を保つためにあぶら汚れやシミ等は、お湯を使ってとって下さい。また、もしもあれば、タルカムパウダーをその後につけてください。これはパッキンの耐久年数をより延ばすためです。
6. 冷凍スイッチは長期間使用しない状態で放置しないで下さい。冷凍スイッチの使用をやめる場合は、種電源を抜いて、庫内を清掃し、乾燥させるために2~3日はフタを開けた状態にしておいて下さい。



ご注意

- ・ 幼児や監督の必要な方がご使用になる場合は、十分な監督・管理をして下さい。
- ・ 幼児が冷凍スイッチで遊ばないよう十分な監督をして下さい。
- ・ 弊社は弊社製品の継続的な改良、仕様、材料の変更を予告なく行う権利を有しています。製品の仕様を確認するには、冷凍スイッチに記載された仕様をご覧ください。

レコム株式会社  
静岡県三島市松本68-1 電話: 055-984-3600 ファクス: 055-984-3601  
ウェブサイト: <http://www.remacom.com> Eメール: [info@remacom.com](mailto:info@remacom.com)